

情報提供日	令和5年（2023年）1月4日（水）
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 久保、富澤 栽培・展示課 島田、高井、濱谷 TEL 082-922-3600

総理大臣の名がついたラン が国内で初めて開花しました

シンガポール政府が日・シンガポール間の友好関係を記念して命名した新種のラン「デンドロビウム キシダ フミオ (*Dendrobium Kishida Fumio*)」について、昨年6月に当園が受領したところですが、同株が令和4年12月22日に国内で初めて開花しましたので、お知らせします。

現在、大温室入口ロビーにて一般公開しております。1月中が見ごろとなりそうです。



シンガポールでの「蘭の命名式」の様子（写真提供：官邸広報室）



開花の様子（1月4日撮影）

デンドロビウム キシダ フミオ (*Dendrobium Kishida Fumio*) について

ラン科デンドロビウム属(デンドロビウム・ファレノプシス系)の新種(人工交配種)。交配親は *Dendrobium Kiyoshi Blue* × *Dendrobium violaceoflavens*。長さ約50cmの花茎に5cm程度の花を約20輪つける。紫色（ベルベットパープル）の唇弁と花弁、紅紫色（マゼンタ）に薄ピンクの縞模様が入ったがく片がこのランの特徴。

広島市植物公園について

昭和51（1976）年開園。園内では約1万品種20万株の植物を栽培。ラン科植物の収集・栽培・展示に力を入れており、日本植物園協会の植物多様性拠点保全園（ラン科・中国地方）にも登録されています。